

日本共産党は、市政の問題点を指摘し改善を求める論戦を行いました。市民アンケートやこんだん会で寄せられた声を議会で提案しました。

## 各常任委員会で積極的に論戦



本山修一議員  
総務財政常任委員  
選定過程が不透明

霞ヶ関西公民館は地域住民が待望していたものです。しかし、建設地が地域のずれにあたり、なげそこに決まったの

かの声が聞かれます。



川口ともこ議員

文化教育常任委員  
市立川越高校の合格者約4分の1が4月から授業料徴収に。親の所得で徴収が決まるが、いじめに繋がらないか、全ての高校生の教育を



かきた有一議員  
産業建設常任委員

地域の特色を生かした街づくりを進めるツールとして、地区計画区域内の建築物の制限条例や都市景観条例などが制定されました。

農業分野では、人

農地プランを策定し担い手を中心とした農政が進められますが、国の政策転換によりコメ作りへの所得補償制度が段階的に廃止されます。産業分野では、昨年に引き続き住宅リフォーム補助に1800万円の予算が計上されました。



こんの英子議員

保健福祉常任委員  
消費税によって負担が重くなる低所得者に臨時福祉給付金を住民税非課税者1人1万円、老齢基礎年金者に5千円を加算し、子育て世帯に

### 川越まつり会館隣に無料休憩施設整備へ



小・中・高校生などから「見学時に休憩所がほしい」の声に応え休憩施設を整備。

### 学校の大規模改造へ



昨年に続き、牛子小、福原小、城南中、寺尾中の校舎改修へ。

### 待機児童解消のため保育所整備



4月から135人の受入れが拡大。今年度は、新設3園、賃貸借1園等340人分の保育所が整備予定です。

## みんなの願い実現へ

### 高校生対象に労働法セミナー実施へ



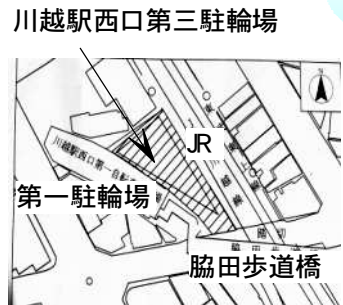
労働トラブルから自分を守る知識や権利を学ぶセミナーを市内高校で実施。

### 自転車シェアリング本格実施へ



自転車を共同して利用する自転車シェアリング。川越駅や市役所、あぐれっしゅ川越など8カ所に乗り場があり、通勤・通学、買い物等に利用できます。

### 川越駅西口に自転車駐輪場を建設へ



川越駅西口第1駐輪場隣に駐輪場整備へ（1千台の自転車、50台のバイクを収容）。

### 家族葬の式場設置へ



市民要望の多い家族葬に対応するため、市民聖苑やすらぎのさとの会議室を改修し式場を設置します。

## 3月市議会の経過

日本共産党議員団は、市長提出の43議案のうち、市立高校授業料徴収条例の一部改正について、親の経済状況による差別を持ち込むとして反対。消費税増税にともなう条例改正6議案、平成26年度一般会計予算、同特別会計等予算5議案に、消費税増税が前提であるなどから合計14議案に反対、その他の29議案に賛成しました。

市民から出されていた2件の請願のうち、「民法の改正による個人保証の原則的廃止を求める請願」は総務財政常任委員会で継続審議となりました。

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願」は全会一致で採択、国に対し意見書が提出されました。内容は、ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること、肝臓機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすることを国に求めるものです。

また、平成の「豪雪被害」に対する被災者救済を求める意見書が議員提案され、全会一致で採択されました。

### 社会教育団体は免除 公民館使用料の改定

公民館使用料が4月から変更になりました。12月議会の文化教育常任委員会での委員の質疑を受け、教育長が、4月より登録グループからも使用料を徴収すると答弁があり、7割を上限に使用料を徴収することになりました。

また、配食サービス、環境、学校のボランティア活動、子育て支援のなど社会教育活動をしている団体については、引き続き免除にしたいとの答弁を引出し、26団体が免除になります。